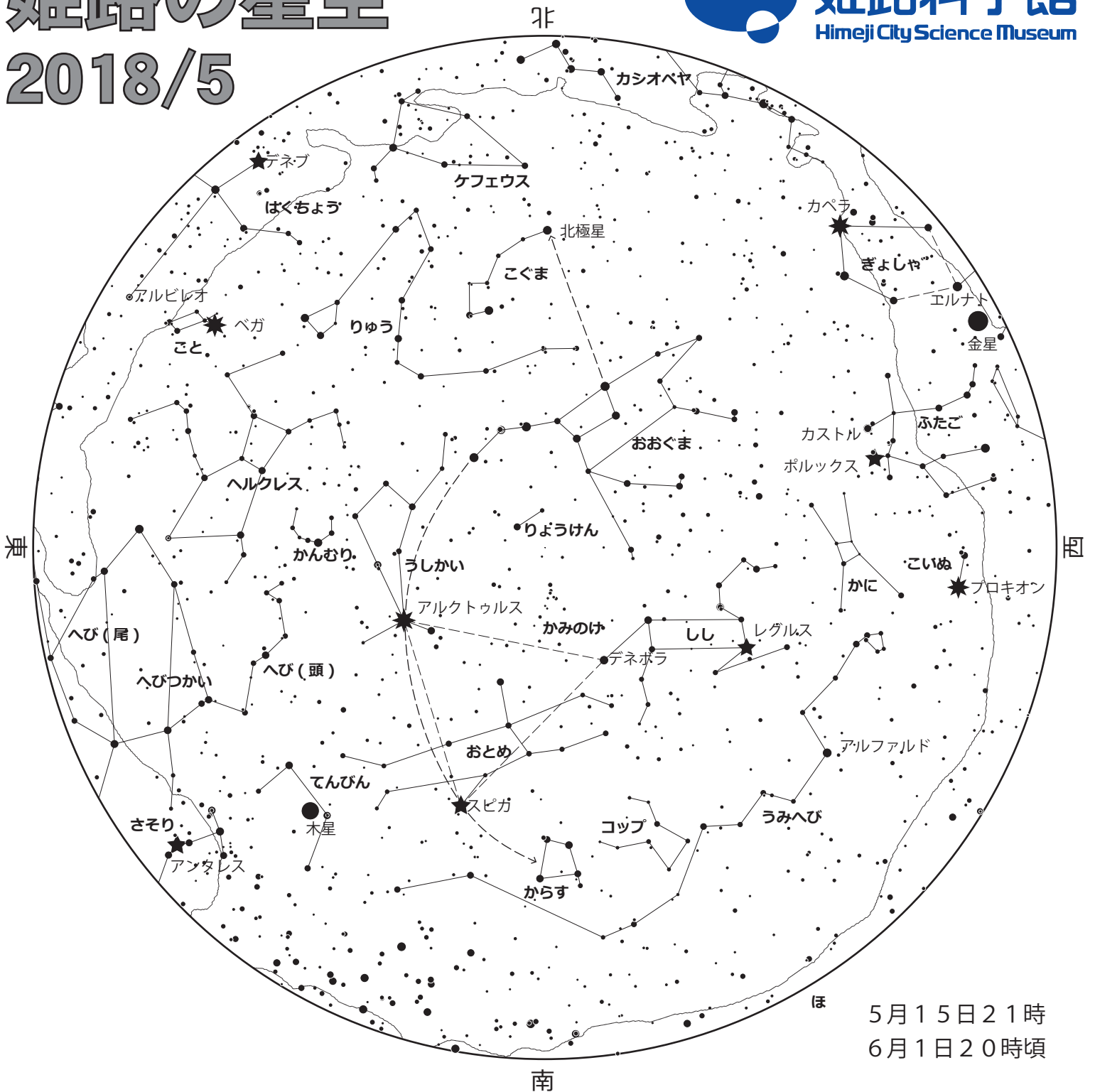


姫路の星空

2018/5



姫路科学館
Himeji City Science Museum



5月15日21時
6月1日20時頃

日没後の西の空に金星が見えます。夕焼け空に一番星として輝きます。毎日観察しているとどのあたりに見えるか見当がつくので、目のいい人は、日没の少し前に見つけられるかもしれません。南東の空には、木星が目立ちます。西側の見晴らしが悪いところだと、木星が一番星になるかもしれません。木星はこれから夏にかけて、望遠鏡で見頃を迎えます。

春の星座が見頃です。南西の空には、しし座があります。？をうらがえした姿と1等星のレグルスが目印です。北の空高くには北斗七星が見えます。北斗七星からは北極星を探せますよ。北極星は方位磁針を使うより正確に北を確かめられるので、家の前での北極星の見え方をおぼえておきましょう。北斗七星はおおぐま座の腰からしっぽの星たち、北極星はこぐま座のしっぽの先の星です。クマのしっぽを伸ばした先、春の大曲線をたどると、うしかい座のアルクトウルス（クマの番人）、おとめ座のスピカ（とがったもの）、そして、からす座があります。アルクトウルス、スピカ、しし座のデネボラを結ぶと、春の大三角になります。

東の低空には夏の星が見え出しています。さそり座のアンタレス（南東）やこと座のベガ（北東）が見つかりますか？